

小城市立岩松小学校
学校だより 第35号



岩松小だより

令和7年12月24日発行
発行者 校長 真子靖弘

2学期を振り返ってー自律・尊重・挑戦の姿に感謝ー

12/24(水)、第2学期の終業式を執り行いました。
校長講話では、今学期を振り返り、運動会や修学旅行・バス旅行、芸術教室といった学校行事をはじめ、日々の委員会・係活動、自問清掃、そして教科の学習など、様々な場面



で子どもたちの輝く姿が見られたことに触れました。

特に、自ら考え判断し行動する「自律」、仲間を思いやり認める「尊重」、失敗を恐れずに挑む「挑戦」という学校教育目標に掲げる3つの姿勢がたくさん見られたことは、一人ひとりの大きな成長の証です。今学期の子どもたちの頑張りに、心から感謝の意を伝えました。

明日からはいよいよ冬休みです。講話の最後には、何よりも大切な「命」を守る行動を常に心がけ、事故なく充実した日々を過ごしてほしいと伝えました。

新しい年に、心身ともにさらに成長した子どもたちと再会できることを楽しみにしています。

優しさと実行力ー6年生が叶えた「七夕の願い」ー

12/18(木)と19(金)の昼休み、校庭に元気なかけ声が響き渡りました。6年生が企画した全校参加の「綱引き大会」です。対戦相手となった下級生たちは、憧れの6年生に勝とうと必死に綱を引き、会場は大いに盛り上がりました。

この大会が開催されたきっかけは、7月の七夕にさかのぼります。「6年生と遊びたい!」という下級生の短冊の願いを目にした6年生が、「それなら自分たちで叶えよう!」と動き出したのです。運動会の実行委員会種目候補だった綱引きを選び、準備を進めてくれました。



下級生の思いを汲み取り、それを実現するための行動を起こす。そんな「思いやり」と「実行力」を兼ね備えた6年生の姿を、大変誇らしく思います。彼らの優しさは、きっと下級生たちの心にも深く刻まれたことでしょう。

想像力を形にする力ー「あいさくん」登場ー

「自分たちの力で、楽しい岩松小学校にしよう!」という6年生の情熱は、とどまることを知りません。この冬、ついにあいさつ運動に

「新マスコットキャラクターの『あいさくん』が登場しました。驚くべきは、その姿。平面のイラストを飛び出し、完全なる「立体」として私たちの前に現れたのです!



実は「あいさくん」には壮大なストーリーがあります。「毎朝、宇宙船から岩松小のあいさつ運動をずっと見ていた」あいさくんが、ついに宇宙船から降り立ち、みんなと一緒にあいさつをすることになった……という設定です。その作り込みは実に見事で、視界を確保する工夫など細部まで情熱が注がれています。(……………



おっと、これ以上は秘密ですね!)

下級生を楽しませようとする豊かな想像力と、それを形にする圧倒的な実行力。こんなに頼もしく優しい6年生が、もうすぐ卒業してしまうなんて……。『卒業しないで!』と、つい本音が漏れてしまうほど、彼らの存在は岩松小の大きな宝物です。

地域の方々に支えられた豊かな学びに感謝

今学期も地域の方々のお力添えに、心より感謝申し上げます。先日は、4年生の総合学習に中島羊羹の中島隆様、集落支援員の田中あき様を講師にお招きしました。また6年生の図工では、江里口館長様のご協力で、ひょうたん人形制作を行うことができました。皆様の温かいご支援のおかげで、子どもたちは充実した時間を過ごしています。



本当にありがとうございました。

小城市教育委員会教育長「こども表彰」受賞

- ・6年生…学校のリーダーとして楽しい学校づくりに貢献。
- ・図書委員会…年間を通してユニークな企画を実施し読書量 up